

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 **新**認知症希望大使設置事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 介護保険者係 電話番号：058-272-1111 (内 2598)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 650千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	650	325	0	0	0	0	0	0	325
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

認知症施策推進大綱は、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進する中の具体的な施策として、本人発信支援を普及啓発の柱の1つとして位置付けている。

認知症の人を「希望大使」に任命し、認知症に関する普及啓発活動を行い、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを推進するとともに、認知症当事者によるピアサポート活動の推進により、認知症当事者も地域を支える一員として活躍することで社会参加の促進を図る

(2) 事業内容

① 認知症希望大使設置事業

- ・県内の認知症当事者を「希望大使」に任命し、講演会や交流会等普及啓発活動等を実施する。

② ピアサポート活動支援講演会及び交流会

- ・他の都道府県で活躍する認知症当事者や県希望大使により、普及啓発のための講演会を開催するとともに、ピアサポート活動の推進を図るため、認知症当事者同士の交流会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方 国 1/2 県 1/2

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	345	講師報償費
旅費	153	講師旅費、職員旅費
需用費	30	消耗品費
役務費	10	郵送料・電話料
使用料及び 賃借料	112	研修会会場賃借料
合計	650	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「認知症施策推進大綱」の「普及啓発・本人発信支援」(3) 認知症の本人からの発信支援の推進

「岐阜県高齢者安心計画」 1-2 認知症対策の推進

(2) 国・他県の状況

国の「認知症施策等総合支援事業」の中の「認知症施策普及・相談・支援事業」による補助金を活用。

国は、令和2年1月に5人の「希望大使」を任命。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 令和5年度までに、全市町村で、希望大使を中心とした認知症の人が、認知症の普及啓発やピアサポート活動として発信・活動する機会を設定・実施できる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
認知症当事者同士の交流会を実施している市町村数	5 (R2)	(R)	(R)	(R)	42 (R5)	11.9%
	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	<p>認知症は誰もがなりうることから、認知症の人やその家族が地域のよい環境で自分らしく暮らし続けるためには、認知症への社会の理解を深め、地域共生社会を目指す中で、認知症であってもなくても、同じ社会の一員として地域をともに作っていくことが必要。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>認知症の人が自ら希望大使となり、認知症の普及啓発を通じて、理解の促進を図るとともに、社会の一員として地域づくりをともに推進する必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>岐阜県の認知症希望大使を設置し、県民が認知症について理解がさらに深められるよう普及啓発活動を実施するとともに、認知症の人が社会の一員として認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを推進する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	